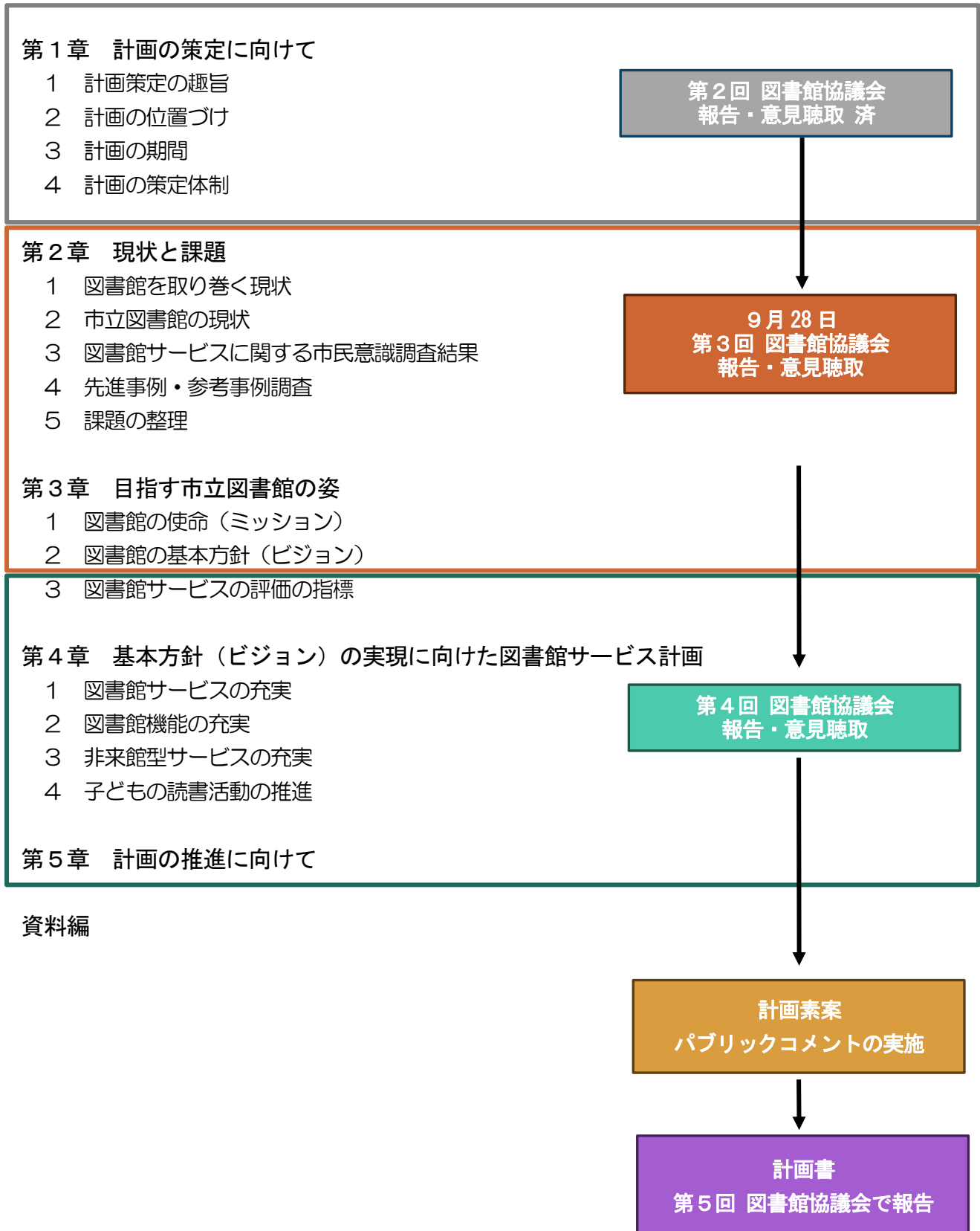


資料

2023.9.28 第3回図書館協議会

印西市立図書館サービス計画（案）

印西市立図書館サービス計画（案） 目次構成案



第2章 現状と課題

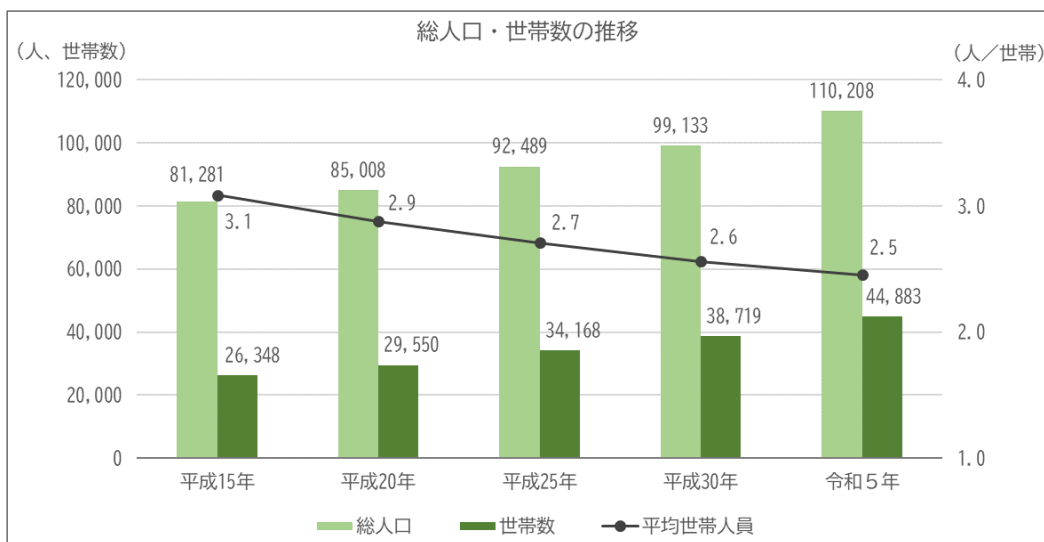
1 図書館を取り巻く現状

● 印西市の現状

印西市の人口は、令和5年（2023年）4月1日時点で110,208人となっており、平成15年（2003年）以降、一貫して増加しています。

年齢3区分別人口の推移を見ると、人口割合では、0～14歳の割合は平成20年に減少しましたが、平成25年以降は増加傾向にあります。65歳以上の割合は増加が続いており、平成30年には20%を超えています。

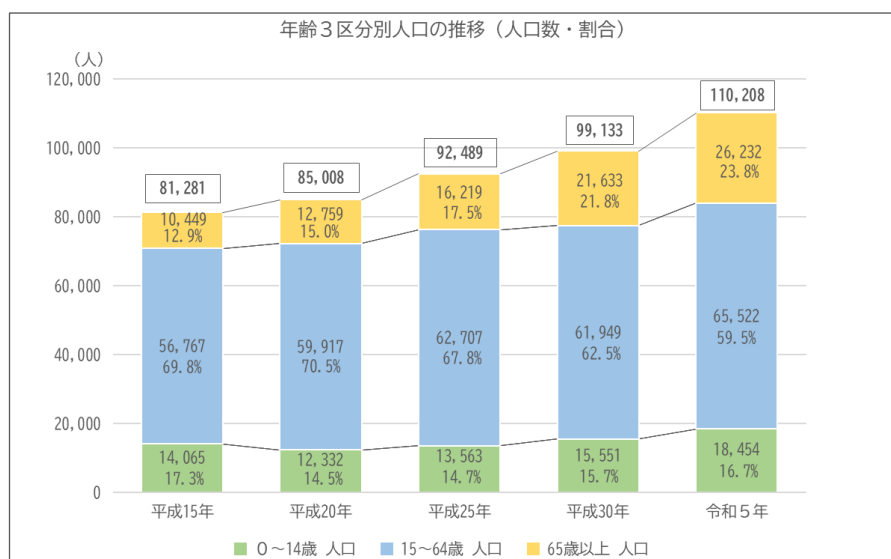
● 総人口・世帯数の推移



(資料：千葉県年齢別・町丁字別人口（各年4月1日時点）)

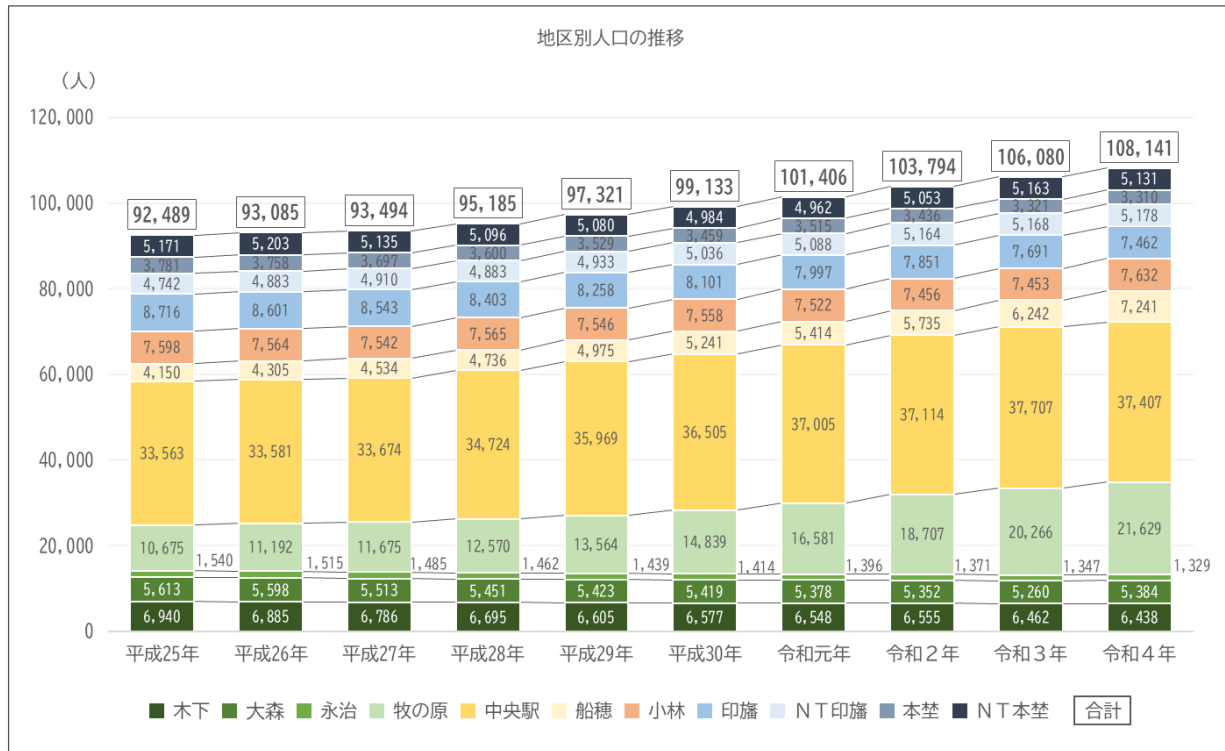
※平成15年及び平成20年は、合併前の印旛村及び本柵村人口を合算した数値である。

● 年齢3区分別人口の推移（人口数・割合）



(資料：千葉県年齢別・町丁字別人口（各年4月1日時点）)

●地区別人口の推移



(資料：データいんざい2022)



図 市全域と各図書館の位置図

● 千葉県の公立図書館の現状

令和4年（2022年）の印西市の図書館の蔵書冊数は551,301冊で、人口1人あたりの蔵書冊数は5.23冊となり、これは千葉県の市町村立図書館（分館・移動図書館、公民館等を含む。）の平均値よりも高くなっています。

また、印西市の図書館の個人貸出冊数は839,613冊で、人口1人あたりの貸出冊数は7.97冊となり、こちらも同様に県平均よりも高くなっています。

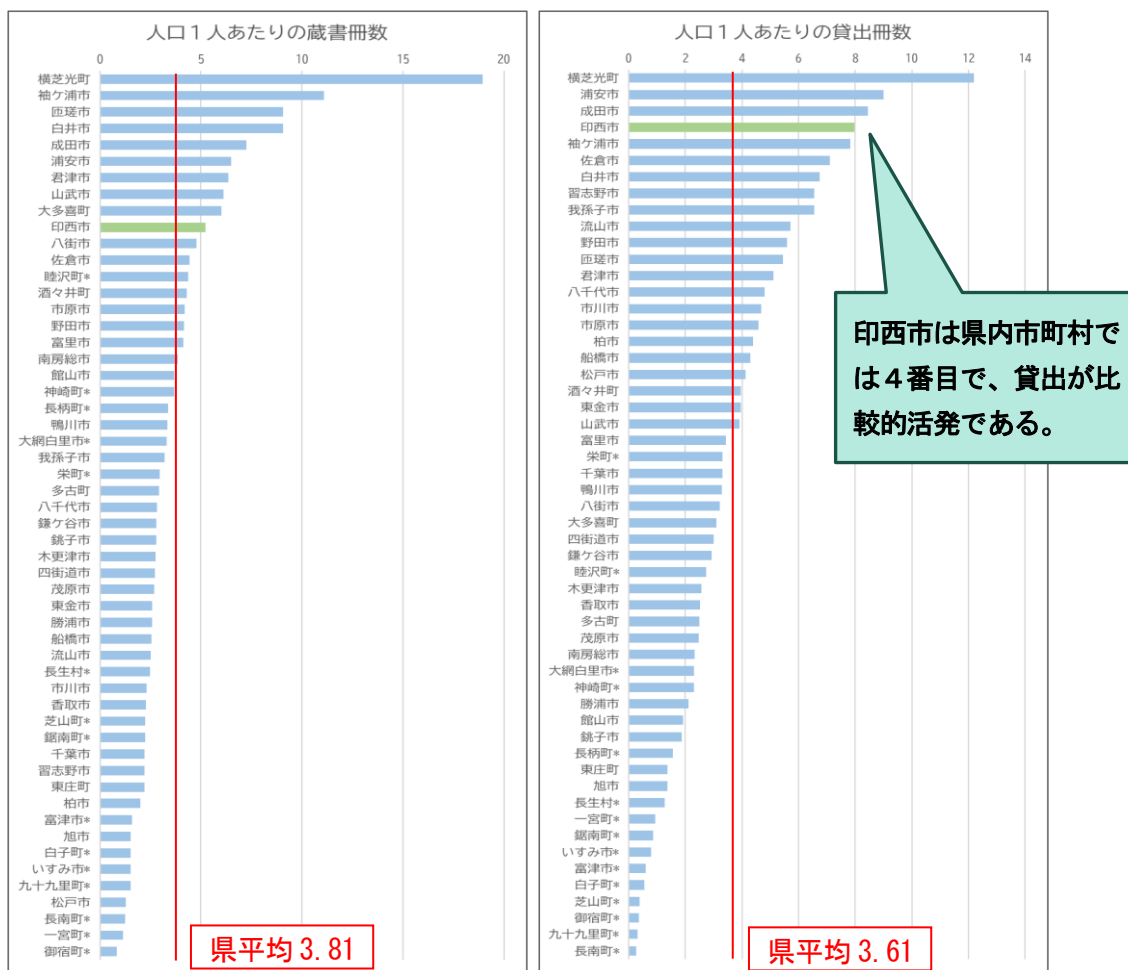
表 人口1人あたりの蔵書冊数及び貸出冊数

	印西市	県平均
管内人口※（人）	105,396	(116,075.0)
蔵書冊数（冊）	551,301	(364,472.2)
個人貸出冊数（冊）	839,613	(518,781.7)
人口1人あたりの蔵書冊数	5.23	3.81*
人口1人あたりの貸出冊数	7.97	3.61*

（資料：千葉県の図書館2022）

※管内人口の総数は、『千葉県毎月常住人口調査月報』（令和4年4月1日現在）

※人口1人あたりの蔵書冊数及び人口1人あたりの貸出冊数の県平均値は、各市町村の人口1人あたりの蔵書冊数及び人口1人あたりの貸出冊数の平均値をとったものである。



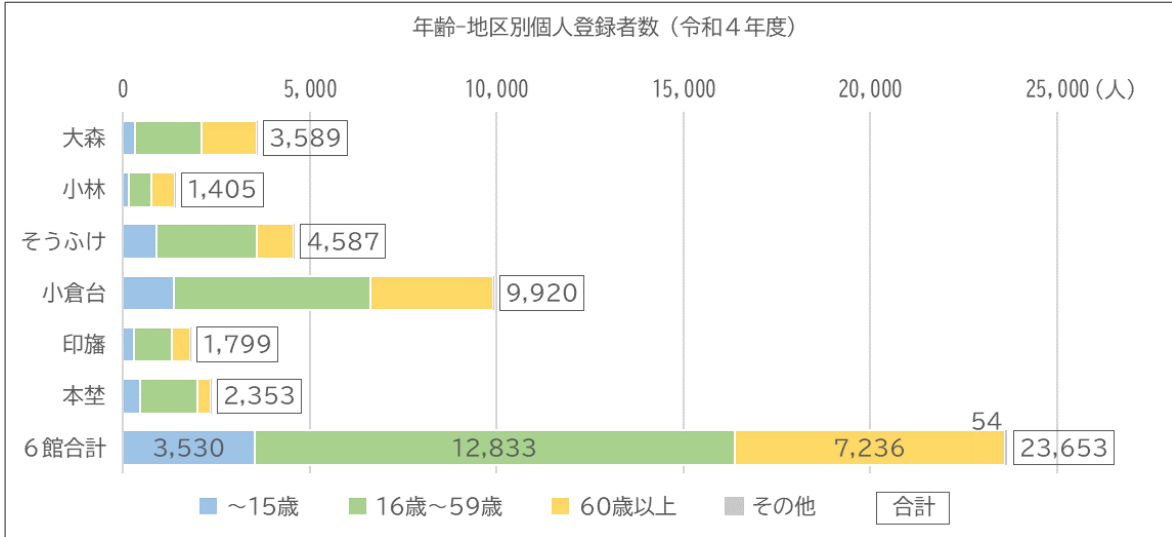
「*」は公民館等の図書館を示す（私立図書館を除く。）

2 市立図書館を取り巻く現状

●市立図書館の現状

●年齢-地区別個人登録者数（令和4年度）

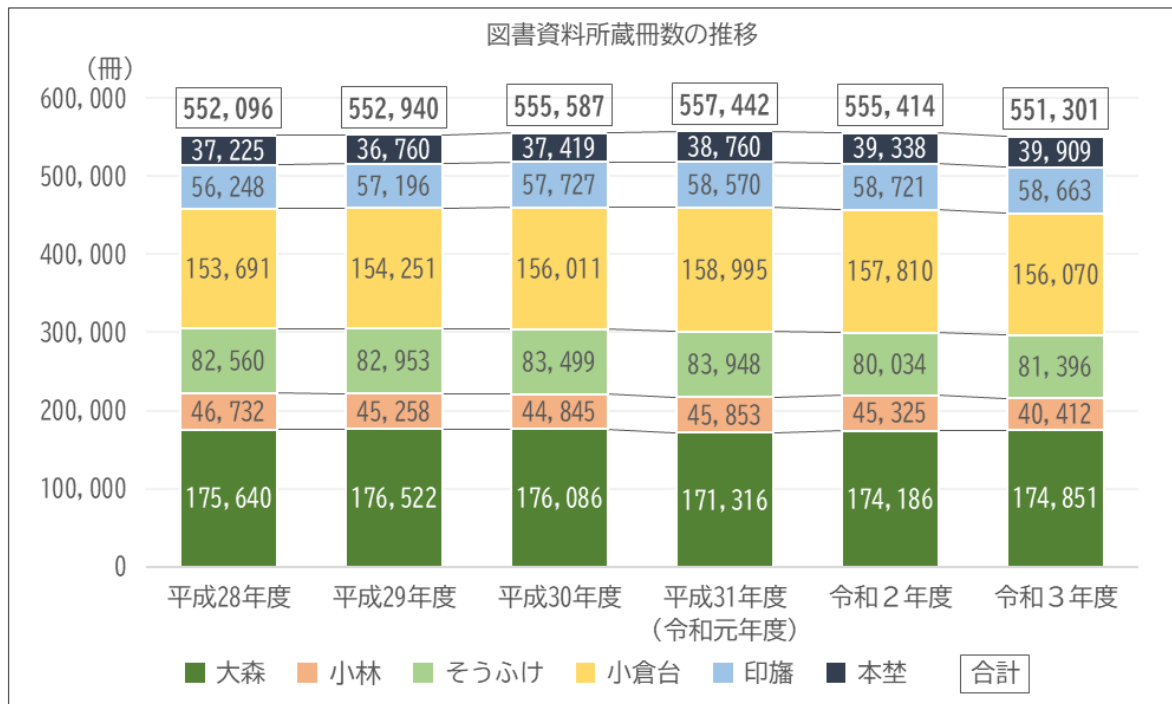
小倉台が最も登録者数が多くなっています。大森、小林は60歳以上の登録者が半数近くを占めています。



（資料：印西市立大森図書館調査（令和4年度））

●図書資料所蔵冊数の推移

所蔵冊数はおおむね横ばいとなっています。大森、小倉台の順に多く、本埜が一番少なくなっています。

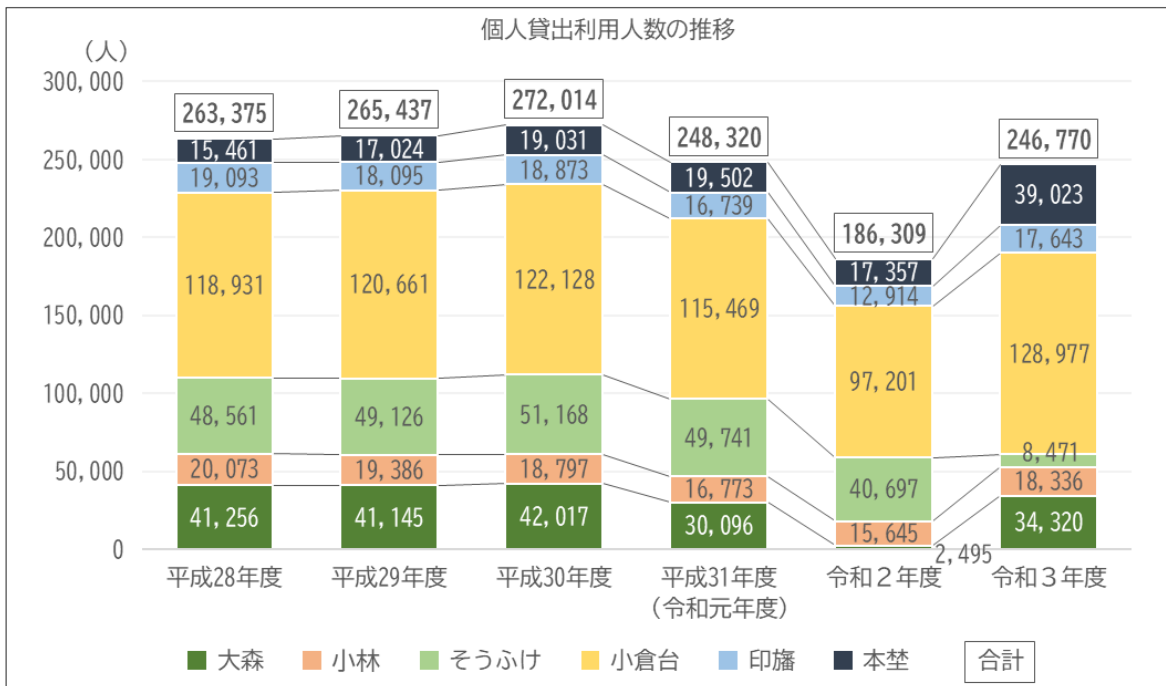
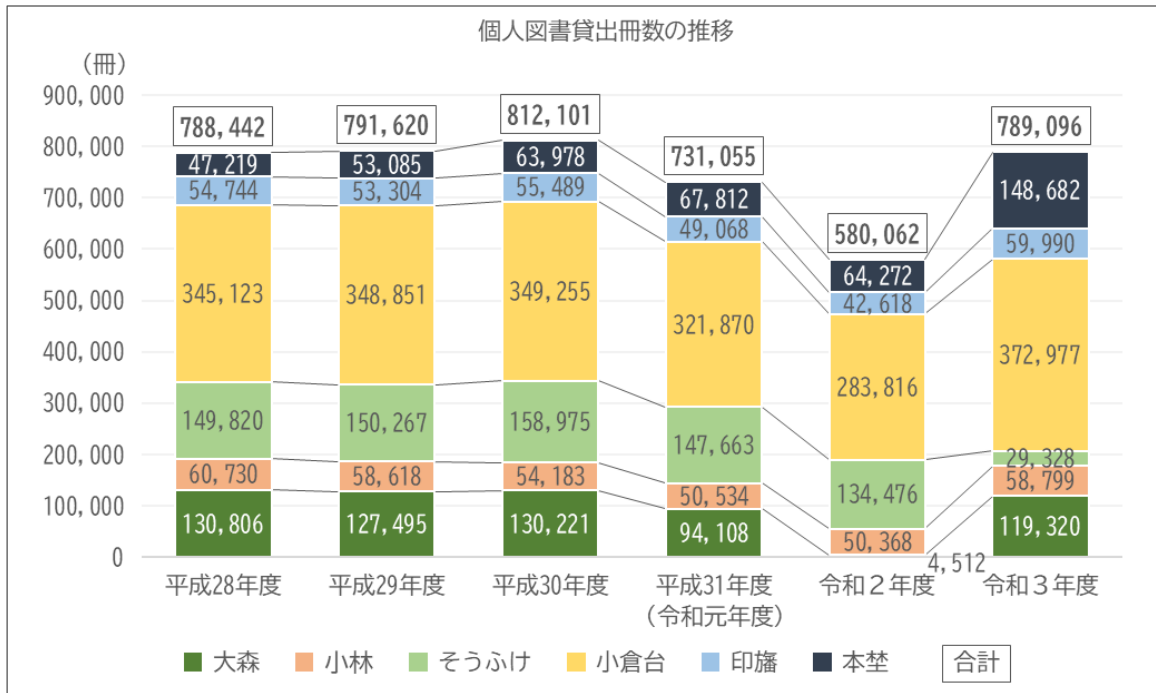


（資料：印西市立大森図書館調査（令和4年度））

●個人図書貸出冊数・個人図書貸出利用人数の推移

貸出冊数・利用人数共に、全体として、平成30年度までは増加傾向でしたが、平成31年度、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため減少しました。

貸出冊数・利用人数共に、小倉台が最も多く、令和3年度は過去6年間で最も多くなりました。休館の影響を除くと、少ないのは小林、印旛、本埜ですが、本埜については、近隣のそうふけ図書館改修工事による休館のため令和3年度は平年よりも大幅に増加しています。



(資料：印西市立図書館年報(各年))

※全館：平成31年度2月末から令和2年度6月末まで利用休止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

※大森：平成31年度1月から令和3年度4月まで休館（新型コロナウイルス感染症拡大防止、大規模修繕工事のため）

※そうふけ：令和3年度5月から2月まで休館（改修工事のため）

●蔵書数に対する貸出数の割合（令和4年度）

図書資料について、各館でのジャンルごとの蔵書数に対する貸出数の割合を算出しました。割合が150%以上のジャンルは下表のとおりとなりました。

特に300%以上となったのは、一般資料についてはそうふけでの大活字とコミック、小倉台での小説とコミックでした。児童資料については小林での大型絵本、そうふけでの洋書、絵本、大型絵本、紙芝居、小倉台での小説、絵本、紙芝居、本埜での哲学、技術、小説、洋書、絵本でした。

表 蔵書数に対する貸出数の割合からみる、人気図書のジャンル

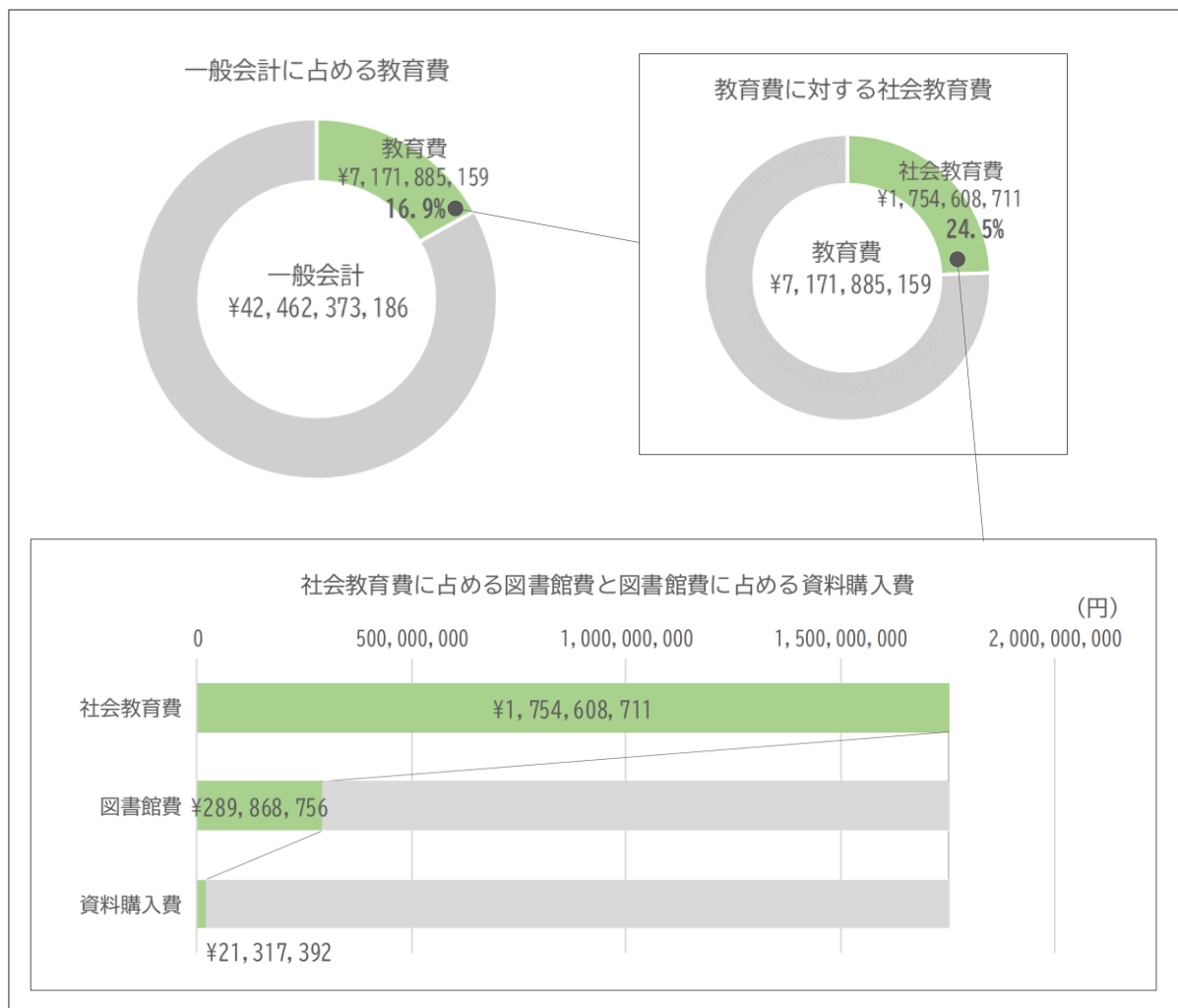
館名	割合が150%以上の図書資料（太字は300%以上）
大森	一般資料：小説、コミック
	児童：絵本、大型絵本、紙芝居
小林	一般資料：-
	児童：哲学、絵本、大型絵本
そうふけ	一般資料：哲学、技術、産業、大活字、小説、コミック
	児童：総記、哲学、歴史、社会、自然、技術、産業、芸術、小説、洋書、絵本、大型絵本、紙芝居
小倉台	一般資料：哲学、技術、小説、コミック
	児童：哲学、歴史、自然、技術、産業、小説、コミック、絵本、大型絵本、紙芝居
印旛	一般資料：洋書、コミック
	児童：哲学、歴史、洋書、絵本、大型絵本
本埜	一般資料：哲学、技術、小説、コミック
	児童：総記、哲学、歴史、自然、技術、芸術、言語、小説、洋書、絵本、大型絵本、紙芝居
6館全体	一般資料：小説、コミック
	児童：哲学、歴史、自然、技術、小説、洋書、コミック、絵本、大型絵本、紙芝居

（資料：印西市立大森図書館集計）

●市の財政に占める図書館費 令和3年度決算額

市の令和3年度決算額では、一般会計に占める教育費の割合は 16.9%でした。さらに、教育費に占める社会教育費の割合は 24.5%でした。

社会教育費に占める図書館費、図書館費に占める資料購入費は下図のとおりです。

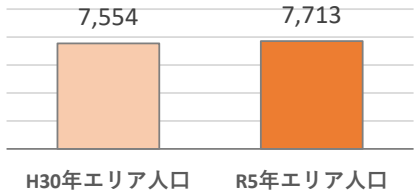
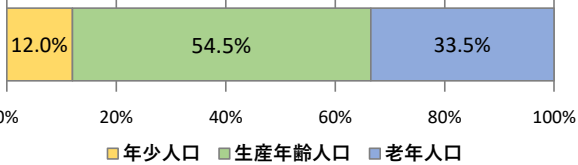
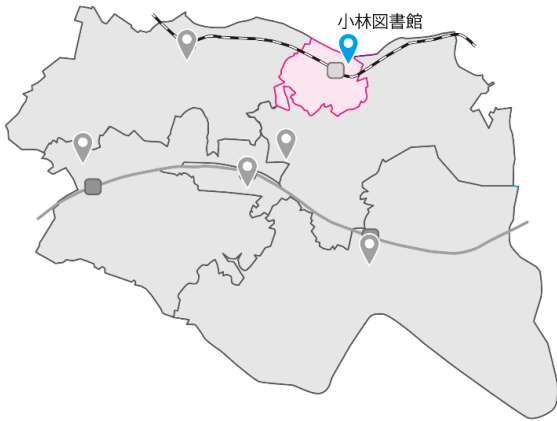



(資料：印西市立図書館年報 令和4年度—令和3年度統計—)

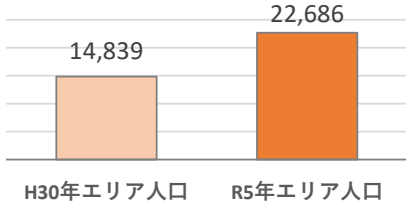
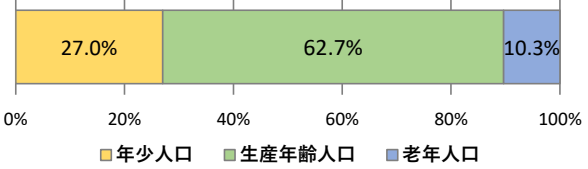


●各市立図書館のカルテ

1	大森図書館（印西市文化ホール内）		所在地	
			印西市大森2535	
開館時間	9:00～17:00 水曜日 9:00～19:00			
休館日	月曜日（祝休日の時はその直後の平日）			
	年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日			
構造	鉄筋鉄骨コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階		開館	平成6年10月1日
敷地面積	4,950.88 m ²	駐車場用地	1,850.11 m ²	建築面積 3,142.07 m ²
延床面積	5,317.82 m ²	延床面積の内、図書館占有面積		1,149.21 m ²
管轄エリア	木下、木下南、竹袋、別所、宗甫、木下東、平岡、大森、鹿黒、鹿黒南、亀成、発作、相嶋 浅間前、浦部、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉			
管轄エリアの人口	13,285 人	年少人口(0～14歳)	1,242 人	
人口増減(対H30年)	-122 人	生産年齢人口(15～64歳)	7,570 人	
人口増減率	-0.91 %	老年人口(65歳以上)	4,473 人	
<p>■管轄エリアの人口増減</p> <p>H30年エリア人口 13,407 R5年エリア人口 13,285</p>		<p>■管轄エリアの人口年齢3区分割合</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p>		
管轄エリアの人口はやや減少傾向		老年人口の割合が高い		
		<ul style="list-style-type: none"> ●印西市立図書館本館 ●文化ホールと同じ建物内にある ●近くに市役所がある 		
		<p>最寄り駅 JR成田線木下駅下車 徒歩15分</p>		

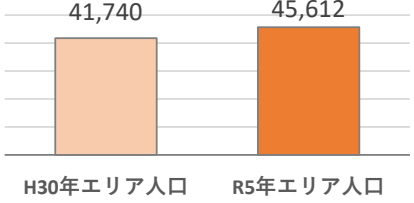
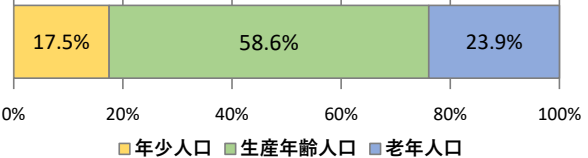


所蔵資料 令和4年3月31日現在	図書資料	雑誌	視聴覚資料	複製絵画	マイクロフィルム	
	174,851 冊	5,604 冊	6,117 点	96 点	3,342 点	
エリア別個人登録者数	2,497 人		個人図書貸出冊数(図書資料)	119,320 冊		
<p>8.5% 6.4% 22.4% 37.8% 8.3% 6.2% 10.3%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> 大森 小林 そうふけ 小倉台 印旛 本笠 市外 	個人貸出利用者数		34,320 人			
	レファレンス 利用件数 改修工事のため4月は臨時 窓口対応	窓口	3,277 件			
		電話	108 件			
		合計	3,385 件			

2	小林図書館（小林コミュニティプラザ内）			所在地	
				印西市小林北5-1-6	
開館時間	9:00～17:00				
休館日	月曜日（祝日の時は火曜日も休館） 国民の祝日及び休日				
	年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日				
構造	鉄筋コンクリート造 屋根木造			開館	平成7年6月1日
敷地面積	3,146.71 m ²			建築面積	1,183.63 m ²
延床面積	2,073.68 m ²	延床面積の内、図書館占有面積			247.29 m ²
管轄エリア	小林、小林官堤、小林北、小林浅間、小林大門下				
管轄エリアの人口	7,713 人	年少人口(0～14歳)	923 人		
人口増減(対H30年)	159 人	生産年齢人口(15～64歳)	4,205 人		
人口増減率	2.1 %	老年人口(65歳以上)	2,585 人		
■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 7,554 R5年エリア人口 7,713</p>			■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 12.0% ■生産年齢人口 54.5% ■老年人口 33.5%</p>		
管轄エリアの人口はやや増加傾向			老年人口の割合が高い		
				<ul style="list-style-type: none"> ●印西市立図書館本館 ●小林コミュニティプラザ内にある ●同じ建物内に、出張所、公民館がある 	
				最寄り駅 JR成田線小林駅下車 徒歩10分	

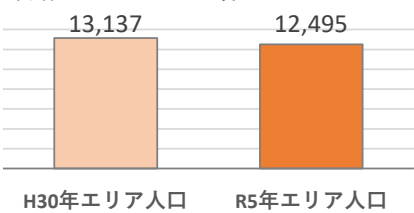
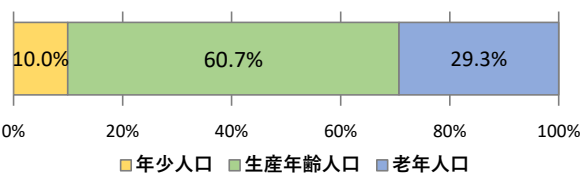


所蔵資料	図書資料	雑誌	視聴覚資料	複製絵画	マイクロフィルム
令和4年3月31日現在	40,412 冊	370 冊	0 点	0 点	0 点
エリア別個人登録者数	1,876 人		個人図書貸出冊数(図書資料)	58,799 冊	
<p> ■ 大森 6.4% ■ 小林 8.5% ■ そうふけ 22.4% ■ 小倉台 37.8% ■ 印旛 8.3% ■ 本埜 6.2% ■ 市外 10.3% </p>	個人貸出利用者数	18,336 人			
	レファレンス 利用件数	窓口	1,795 件		
		電話	83 件		
		合計	1,878 件		

3	そうふけ図書館（ふれあい文化館内）		所在地	
			印西市市原3-4	
開館時間	9:00～17:00			
休館日	月曜日（祝日の時は火曜日も休館） 国民の祝日及び休日			
	年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日			
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造		開館	平成11年2月2日
敷地面積	4,000.01	㎡	建築面積	1,781.13
延床面積	3,674.49	㎡	延床面積の内、図書館占有面積	
			500.98	
管轄エリア	東の原、西の原、牧の原、原			
管轄エリアの人口	22,686	人	年少人口(0～14歳)	6,129
人口増減(対H30年)	7,847	人	生産年齢人口(15～64歳)	14,214
人口増減率	52.88	%	老年人口(65歳以上)	2,343
■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 14,839 R5年エリア人口 22,686</p>		■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p>		
管轄エリアの人口は増加傾向		年少人口、生産年齢人口の割合が高い		
			<ul style="list-style-type: none"> ●印西市立図書館分館 ●ふれあい文化館内にある ●同じ建物内に、公民館、児童館、老人福祉センターがある 	
			最寄り駅 北総線印西牧の原駅下車 徒歩10分	

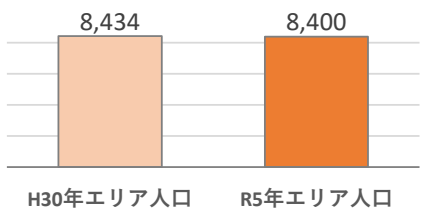
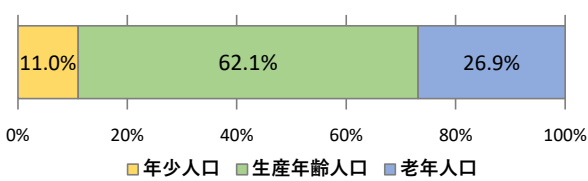


所蔵資料	図書資料	雑誌	視聴覚資料	複製絵画	マイクロフィルム
令和4年3月31日現在	81,396 冊	1,450 冊	0 点	0 点	0 点
エリア別個人登録者数	6,583 人		個人図書貸出冊数(図書資料)	29,328 冊	
<p> ■ 大森 ■ 小林 ■ そうふけ ■ 小倉台 ■ 印旛 ■ 本埜 ■ 市外 </p>	個人貸出利用者数		8,471 人		
	レファレンス 利用件数 改修工事のため5月～2月 まで休館		窓口	520 件	
			電話	16 件	
			合計	536 件	

4	小倉台図書館		所在地	
			印西市小倉台4-5	
開館時間	9:00～17:00 水曜日 9:00～19:00			
休館日	月曜日(祝休日の時はその直後の平日)			
	年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日			
構造	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上2階	開館	平成12年6月1日	
敷地面積	2,646.11 m ²	建築面積	1,560.34 m ²	
延床面積	2,700.28 m ²	延床面積の内、地下駐車場面積		1,078.00 m ²
管轄エリア	小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、武西学園台、戸神台、中央北、中央南、内野、原山、高花 武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多々羅田、草深、泉			
管轄エリアの人口	45,612 人	年少人口(0～14歳)	7,989 人	
人口増減(対H30年)	3,872 人	生産年齢人口(15～64歳)	26,715 人	
人口増減率	9.28 %	老年人口(65歳以上)	10,908 人	
■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 41,740 R5年エリア人口 45,612</p>		■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p>		
管轄エリアの人口はやや増加傾向		年少人口の割合が高い		
		<ul style="list-style-type: none"> ●印西市立図書館分館 ●図書館単独の建物 		
		最寄り駅 北総線千葉ニュータウン中央駅下車 徒歩15分		

所蔵資料	図書資料	雑誌	視聴覚資料	複製絵画	マイクロフィルム	
令和4年3月31日現在	156,070 冊	3,191 冊	4,906 点	0 点	0 点	
エリア別個人登録者数	11,088 人		個人図書貸出冊数(図書資料)	372,977 冊		
<p> ■ 大森 ■ 小林 ■ そうふけ ■ 小倉台 ■ 印旛 ■ 本埜 ■ 市外 </p>	個人貸出利用者数	128,977 人				
	レファレンス 利用件数	窓口	8,023 件			
		電話	279 件			
		合計	8,302 件			

5	印旛図書館（ふれあいセンターいんば内）		所在地	
			印西市美瀬1-25	
開館時間	9:00～17:00			
休館日	月曜日（祝日の時は火曜日も休館） 国民の祝日及び休日			
	年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日			
構造	鉄筋鉄骨コンクリート造 一部鉄骨造 地上3階		開館	平成16年1月15日
敷地面積	13,590.65 m ²		建築面積	1,149.11 m ²
延床面積	2,985.05 m ²	延床面積の内、図書館占有面積		376.79 m ²
管轄エリア	瀬戸、山田、平賀、平賀学園台、吉高、萩原、松虫、岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田 美瀬、舞姫、若菰			
管轄エリアの人口	12,495 人	年少人口(0～14歳)	1,244 人	
人口増減(対H30年)	-642 人	生産年齢人口(15～64歳)	7,589 人	
人口増減率	-4.89 %	老年人口(65歳以上)	3,662 人	
■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 13,137 R5年エリア人口 12,495</p>		■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p>		
管轄エリアの人口はやや減少傾向		生産年齢人口の割合が高い		
		<ul style="list-style-type: none"> ●印西市立図書館分館 ●ふれあいセンターいんば内にある ●同じ建物内に、印旛支所、保健センター、地域福祉センター、健康づくりセンター、児童館がある 		
		最寄り駅 北総線印旛日本医大前駅下車 徒歩10分		

所蔵資料	図書資料	雑誌	視聴覚資料	複製絵画	マイクロフィルム	
令和4年3月31日現在	58,663 冊	1,337 冊	0 点	0 点	0 点	
エリア別個人登録者数	2,443 人		個人図書貸出冊数(図書資料)	59,990 冊		
<p>8.5% 6.4% 22.4% 37.8% 8.3% 6.2% 10.3%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> 大森 小林 そうふけ 小倉台 印旛 本埜 市外 	個人貸出利用者数	17,643 人				
	レファレンス 利用件数	窓口	1,730 件			
		電話	85 件			
		合計	1,815 件			

6	本埜図書館（本埜ファミリア館内）		所在地	
			印西市滝野3-4	
開館時間	9:00～17:00			
休館日	月曜日（祝日の時は火曜日も休館） 国民の祝日及び休日			
	年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日			
構造	木造地上1階	開館	平成15年4月25日	
敷地面積	3,200.14 m ²	建築面積	1,037.53 m ²	
延床面積	937.93 m ²	延床面積の内、図書館占有面積		323.80 m ²
管轄エリア	中根、荒野、角田、竜腹寺、滝、物木、笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林、滝野			
管轄エリアの人口	8,400 人	年少人口(0～14歳)	926 人	
人口増減(対H30年)	-34 人	生産年齢人口(15～64歳)	5,217 人	
人口増減率	-0.4 %	老年人口(65歳以上)	2,257 人	
■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 8,434 R5年エリア人口 8,400</p>		■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p>		
管轄エリアの人口はやや減少傾向		生産年齢人口の割合が高い		
		<ul style="list-style-type: none"> ●印西市立図書館分館 ●本埜ファミリア館内にある ●同じ建物内に、出張所、シルバールーム、子育て支援センターがある 		
		最寄り駅 北総線印西牧の原駅下車 徒歩15分		

所蔵資料	図書資料	雑誌	視聴覚資料	複製絵画	マイクロフィルム
令和4年3月31日現在	39,909 冊	751 冊	0 点	0 点	0 点
エリア別個人登録者数	1,824 人		個人図書貸出冊数(図書資料)	148,682 冊	
<p> ■ 大森 8.5% ■ 小林 5.4% ■ そうふけ 22.4% ■ 小倉台 37.8% ■ 印旛 8.3% ■ 本埜 6.2% ■ 市外 10.3% </p>	個人貸出利用者数	39,023 人			
	レファレンス 利用件数	窓口	1,999 件		
		電話	55 件		
		合計	2,054 件		

3 図書館サービスに関する市民意識調査結果

計画策定に先立ち、図書館サービスに対する意見や感想を聞くアンケート調査を実施しました。

調査対象者：市内在住の18歳以上の方 2,000人

調査方法：郵送配布のうえ、郵送回答またはWEBサイトでの回答

実施期間：令和5年7月24日（月）～令和5年8月6日（日）

※8月21日到着分まで反映中

回答者数（回答率）：534人（26.7%）…郵送回答420人、WEB回答114人

（現在速報版で数値の確定作業中、確定後、アンケート結果概要が入ります。）

4 先進事例・参考事例調査

公共図書館に係る様々な先進事例・参考事例を整理します。

No.	参考事例	取組の概要	考えられる活用方策
1 ※	まちライブラリー 2023年7月末 1050か所（累計）	まちの中のカフェ、ギャラリー、シェアオフィス、お寺、病院などに本棚を設置し、そこにメッセージを付けた本を持ち寄り交換しながらまちのコミュニティを作っていくという活動。	市民が私設ライブラリーを開設する際の支援や情報提供 まちライブラリーの啓発の実施（講演会・事例紹介など）
2 ※	森の文庫 中之条町 ーリラックスの森 京都市 ー京都御苑	屋外で読書を楽しむ空間、「森の文庫」は、ファミリー層からシニア層まで幅広いニーズが想定され、利用者の満足度が高い取組と考えられる。	図書館中庭や市内の講演などの公共空間を活用し、読み聞かせや、お話し会と併用して実施する方法が考えられる。 週末開催、イベント時開催など
3	オンラインレファレンス ー早稲田大学図書館	大学図書館では、オンラインレファレンスを実施しているところが増えている。早稲田大学では、メール、zoomでのレファレンスに対応している。	レファレンス機能の強化を図るうえでの一方策。 zoomなどのオンラインのほか、チャット機能の活用も考えられる。
4	オープンライブラリー デンマーク、フィンランド、イギリス、秦野市等	デンマークでは、図書館員がいない時間も開館し住民が利用できるサービスを2010年以降、本格的に展開している。日本においても秦野市などが導入。	国内でも秦野市で全工程無人化の図書館業務を実施している。 導入の可能性について手法等の調査・研究が必要。
5	こども本の森 大阪中之島、岩手遠野、神戸、熊本	「こども図書館」と呼ばれる憩いの場は、世界的な建築家・安藤忠雄氏がプロデュースする図書館。 「子どもたちに豊かな感性を育てて欲しい」との想いが込められている。	図書館のリニューアルなどに、際し参考となる。 建築物の美しさに対し、利便性がよくないなど賛否両論ある。
6 ※	公民連携型図書館 大阪市 ー十三駅前 2026年オープン予定	公共図書館と学校図書館（館内に、私設図書館：まちライブラリーと学校専用エリア）が相互連携を図る、国内初の図書館モデル。	公民連携の先進事例であり、将来的な取組として好事例。 ソフト中心の公民連携から進めていくことで発展が期待される。
7 ※	バーチャル図書館 仮想空間図書館 ー図書館流通センター	図書館流通センター、図書館総合研究所などが企画・開発に関わる仮想空間図書館。利用可能な層が拡大など、図書館の可能性が広がる取組。	開館時間の延長などの課題に対応し、より幅広い利用が可能。 今後の動向などの研究・調査が必要
8 ※	ナッジ理論を活用した図書館利用促進 ー鈴鹿工業高校専門学校	ナッジとは、「人々の選択肢を奪うことなく、環境を整えることで、本人や社会にとって望ましい行動を後押しする手法」。図書の返却などで活用されている	ナッジを活用した政策立案は多くの自治体で進められている。図書の貸出・返却、イベントのお知らせなどには、ナッジの効果的な活用が可能

※印については、次ページ以降に情報を掲載

1 コミュニティがライブラリーをつくるー私設図書館(まちライブラリー)と図書館の連携

磯井純充氏が提唱する本を活用したコミュニティの場「まちライブラリー」は、同氏が2011年に提唱して以降、2023年7月末現在、登録箇所数は1,050件に達しています。

また、「まちライブラリー」は多くの公共図書館と連携しており、市民グループが自主的な集まりを実施し、持ち寄った本を館内に設置して貸出したり、図書館が音頭をとって市役所や駅、公民館、さらにはカフェなど民間の協力も得て「まちライブラリー」を設置したりするなど様々なスタイルがあります。

人口増加に伴い、多様なニーズがあるなか、市民や地域コミュニティの力を活用した「まちライブラリー」は印西市民のなかでも広がっていく可能性があります。

■活用イメージ

- ・市民の自発的な活動を奨励する
- ・里山を活用した「里山ライブラリー」
- ・公共施設の一角を提供する

など

■まちライブラリーホームページ



資料:まちライブラリーホームページ

2. 自然のなかで本に触れる－「森の文庫」中之条ガーデンズ(中之条町)・京都御苑(京都市)

屋外で読書を楽しむ空間、「森の文庫」は、ファミリー層からシニア層まで幅広いニーズが想定され、市民満足度の高い取組と言えます。図書館の事業として図書館の中庭などを利用しての実施も可能ですが、地域コミュニティやボランティアと連携して、取り組む方法も考えられます。

■リラックスの森－森の文庫



■もりのおはなしや
一読み聞かせ会



資料：中之条ガーデンズホームページ

■活用イメージ

- ・市民協働事業としてニーズのある場所で実施
- ・図書館の中庭などで土日限定の定期的な実施
- ・常設の設備を設置し、読み聞かせの会などと連携
- ・高齢者を対象としたお話し会 など

自然ふれあいスポット

読書の秋！

母と子の森「森の文庫」においでよ！

●利用期間：4月1日～11月30日(予定)
9:00～16:00 ※雨天時閉鎖

森の文庫には、子ども向けの自然に関する本、紙芝居がたくさん揃っています。

「これは何の実？」
「トンボのくらしを知りたい!!」
調べたい時に助けになる
図鑑や絵本がいっぱい！

紙芝居用「舞台」

紙芝居は20作品。「舞台」に
セットしてご利用ください。

※貸し出しはおこなっていません。母と子の森で利用してね！

資料：京都御苑きせつだより

23

3. 多様なレファレンスの形ーオンラインレファレンス（早稲田大学図書館）

レファレンス機能の充実・強化は公立図書館の機能のなかでも、中核をなす機能ですが、市民からはあまり知られていない、活用されていないのが現実です。利用者の時間を節約するために、通常のレファレンスサービスの質的向上と同時に、多様なサービスの展開を検討していくことも重要です。

大学図書館では、メールレファレンス、zoomレファレンスを実施しているところがあります。

DX実装の観点から、AIの搭載など、将来的な実施手法について調査・研究を実施していくことが求められます。

5. 公民連携型図書館 ー十三駅前（大阪市）

大阪市、十三駅前の複合開発拠点は、2026年共用開始を目指し、整備が進められています。本事業では、「公共図書館と学校図書館（館内に、私設図書館：まちライブラリーと学校専用エリア）が相互連携を図る、国内初の図書館モデルを核とし、多様な人々を呼び込み、地域コミュニティを育む拠点を目指します。」としています。

大阪市立図書館（以下、公共図書館）と学校図書館を併設配置し、学校図書館は、地域開放する「まちライブラリーエリア」と、学生が利用する「学校専用エリア」にて構成される仕組みになっています。公共図書館と学校図書館・まちライブラリーの公民連携を実現し、ワンフロアで相互連携することによって地域交流拠点を形成するというものです。

本市においては、複合施設等を検討する際の参考として活用することが考えられます。

一方、ハードの構築から公民連携を展開するだけでなく、既存の図書館、学校図書館、公民館などの連携や、地域コミュニティが中心となった図書館サービスの検討など、ソフト中心の公民連携について検討していく必要があります。

■ 公民連携型の国内初の図書館モデルイメージ



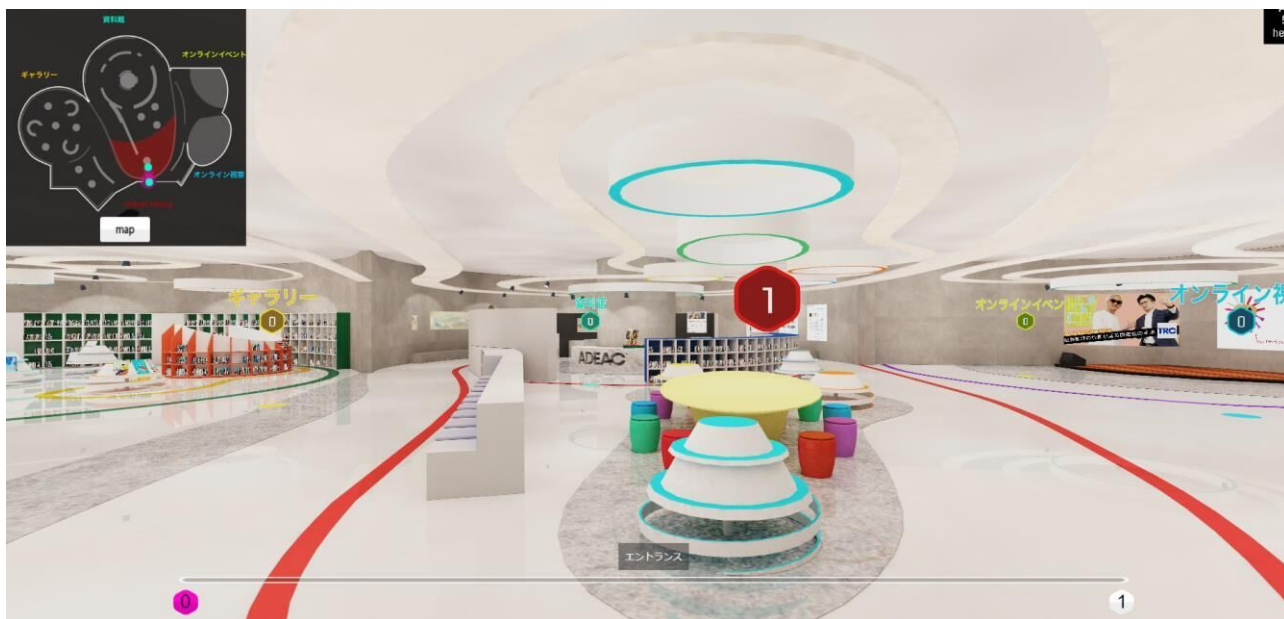
資料: 公民連携図書館を核としたまちづくり拠点を創出する大阪・十三駅前の複合開発拠点(大阪市)を設計・管理(JIJI.COM) データ提供もと PRTIMES

7. DXが生み出す新たな可能性－仮想空間図書館（バーチャル図書館）

DXの深化にともない、電子図書館のさらにその先を目指す試みも始まっています。仮想空間図書館では、実際に書棚から本を選ぶ感覚で図書館を利用できるようになります。

仮想空間図書館は図書館流通センター、図書館総合研究所などが企画・開発に関わっています。コロナ禍における図書館の休館や、様々な事情で図書館を利用できない（時間的な制約やアクセスなど）人が利用できるため、図書館の可能性がさらに広がる取組です。

■館内に入るとバーチャルのエントランスがあり視覚的に楽しい空間



資料：図書館流通センターホームページ

■活用イメージ

- ・DXの深化にともなう将来の市立図書館のあり方の検討
など

8 ナッジ理論を活用した図書館利用促進の可能性

ナッジとは、「人々の選択肢を奪うことなく、環境を整えることで、本人や社会にとって望ましい行動をするようにそと後押しをする手法」と定義されています。（特定非営利法人 Policy Garage）ナッジを活用した政策立案は多くの自治体で進められていますが、図書の貸出・返却、イベントのお知らせなどには、ナッジの効果的な活用が可能と考えます。

■ 鈴鹿工業高校専門学校の例

事例として、図書館における返却の遅れを減らす試みとして、Microsoft teams を活用したナッジによる督促の例が示されています。（鈴鹿工業高校専門学校紀要 第 56 巻 「図書館における返却遅れを減らす試み」）

論文によると、延滞図書の返済予定を利用者自らが決定するという選択肢を設け、返済予定回答フォームで返済日を回答できるシステムを導入したところ、延滞者（特に長期の）が減少したと示されています。

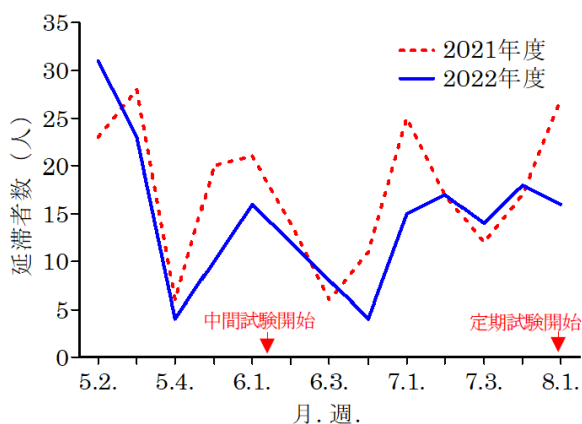


図 1 0 短期延滞者数（5日～13日）

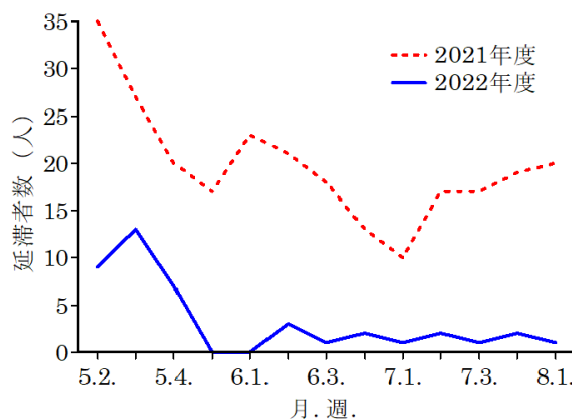


図 1 1 長期延滞者数（14日以上）

資料:鈴鹿工業高校専門学校紀要 第 56 巻 「図書館における返却遅れを減らす試み」

■ 活用イメージ

- 図書館イベントの利用者拡大のしかけ
 - 貸出冊数、登録者数の拡大のしかけ
- など

5 課題の整理

公共図書館の役割

- 地域住民の知る権利・読む自由・学びを豊かにする使命がある。
- 全ての住民に開かれた図書館であること。
- 地域住民の暮らしと仕事、学び、子育て、楽しみなどをリアルに捉えた活動。
- 地域住民と図書館の協働を育て、地域づくりに貢献する。
- 地域に関わる人の活動をサポートすること。(住民・市議会議員・市職員等)
- 社会の多様な問題を知り、多様な視点から考えるための資料と場を積極的に提供すること。

印西市の上位関連計画からの市立図書館の課題

【ソフト面の課題】～ 図書館が対応する課題

- 地域の情報やコミュニティの拠点としての役割がある。
- だれにでも対応できる図書館サービスの充実。
- 施設整備の在り方についての調査・研究。
- 子どもたちの創造力や豊かな心の育成を目指した読書活動の推進。

【ハード面の課題】～ 市が対応する課題

- 運営の効率化に向けた指定管理者制度の導入の検討。
- 老朽化した図書館の改修推進。

印西市の現状からの市立図書館の課題

- 市の人口は増加が今後も続くと見込まれるため、図書館サービスの更なる充実が求められる。
- 人口構成比はエリアによって違いがあるため、エリアの状況に対応したサービスの提供が求められる。
- 6つの図書館それぞれの特徴を生かしたサービスの検討が必要である。



市立図書館に求められること

- ▶ 印西市に住んでいる人、通勤・通学してる人など、印西市に関わる全ての人に開かれた図書館。(DXの推進、デジタルディバイドへの対応)
- ▶ 人口増加に対応した図書館サービスの充実。(新たな図書館の検討)
- ▶ あらゆる年代、多様なニーズに対応した図書館サービスの提供。(図書館利用に障がいのある人、多文化)
- ▶ 地域住民の暮らしを豊かにする読書活動の推進。
- ▶ 住民が地域の課題を考え解決するための資料、情報を提供など、地域の情報センターとしての役割を担う。
- ▶ 地域住民が集い交流する機会と場の提供、住民参加の促進。
- ▶ 適切な施設設備の整備。

6つの市立図書館に求められること

大森図書館

- 特徴：**蔵書数が最も多く、複製絵画やマイクロフィルムも所蔵、貸出を行っている。
文化ホールとの複合施設であり、市役所と近接、様々な人が集まる場所。
老年人口の比率が高いエリア、少子高齢化傾向。
- ▶市立図書館本館として、あらゆるニーズに応えることが求められる。

小林図書館

- 特徴：**児童資料の大型絵本の貸出割合が高い。
出張所、公民館との複合施設であり、幅広い年齢層の住民が集まる場所。
老年人口の比率が高いエリア、少子高齢化傾向。
- ▶児童資料の充実、地域住民が憩いの場として気軽に立ち寄れる図書館を目指す。

そうふけ図書館

- 特徴：**児童資料の貸出割合が高い。
公民館、児童館、老人福祉センターとの複合施設。
人口が急増しており、年少・生産年齢人口の比率が高いエリア。ファミリー層が多い。
- ▶ファミリー層のニーズに応える図書館サービスが求められる。

小倉台図書館

- 特徴：**所蔵資料が2番目に多く、個人図書貸出冊数・貸出利用人数ともに最も多い。
レファレンス利用件数が最も多い。
複合施設ではない、図書館単独の建物。
年少人口の比率が高いエリア。
- ▶最も多く集まる図書館でエリア外の市民も利用。図書館単独の建物であることを生かしたイベントの充実が求められる。

印旛図書館

- 特徴：**支所、保健・地域福祉・健康づくりの拠点、児童館との複合施設。
地域の拠点施設で様々な年齢層の住民が集まる場所。
人口がやや減少気味で、生産年齢人口、老年人口の比率が高いエリア。
- ▶地域の人が集う場所としての図書館を目指す。

本埜図書館

- 特徴：**児童資料の貸出割合が高い。
出張所、シルバールーム、子育て支援センターとの複合施設。
人口がやや減少気味で、生産年齢人口、老年人口の比率が高いエリア。
- ▶今後は高齢化の進行が考えられるので、高齢者向けのサービスの充実を図る。

第3章 目指す市立図書館の姿（たたき台案）

1 図書館の使命（ミッション）

公立図書館は、あらゆる年代の市民の教育、自主的な学びを支援し、機会を提供すること、幼い時期から子どもの読書習慣を育成し、想像力・創造性に刺激を与えること、異文化間の交流を助長し、多様な文化が存立できるようにすること等、たくさんの使命を担っています。

このような多くの使命を果たすために、地域の情報センターとして市民に活用される場所となることが重要です。

これらのことを踏まえ、印西市立図書館がその使命を果たすためのキーワードは「つながる」という言葉だと考えます。

● 「つながる」図書館のイメージ

図書館 つながる 図書館	市立6館の図書館が蔵書を共有することで、市民に提供できる資料の選択肢を増やします。
--------------------	---



図書館 つながる 自宅	オンライン、電子図書などを活用することで、自宅に居ながら資料・情報が手に入ります。
-------------------	---



図書館 つながる 市民	市民のアイデアや協力で、図書館がより身近な存在になります。
-------------------	-------------------------------



図書館 つながる 新しい発見	図書館から発信される情報で、市民の生活に新たな刺激を与えます。
----------------------	---------------------------------



図書館 つながる 遠くのまち	オンラインで他市町村とつながり各地の情報と出会うことができます。
----------------------	----------------------------------



人と人をつなげる コミュニティがひろがる

つながる図書館

2 図書館の基本方針（ビジョン）

基本方針1 図書館サービスの充実

～利用者に応じた図書館サービス

図書館サービスの充実では、利用者に対応した図書館サービスを整理し、施策や取組を展開します。

- 利用者層に対応した図書館サービス
乳幼児と保護者/児童生徒/青少年/成人/高齢者
- 多様なニーズに対応した図書館サービス
図書館利用に障がいのある人/多文化共生の視点

基本方針2 図書館機能の充実

～基本的な図書館サービスと施設設備

図書館機能の充実では、基本的な図書館サービスと施設設備についての施策や取組を展開します。

- 基本的な図書館サービス
資料収集・蔵書構成/閲覧サービス/貸出・予約サービス/レファレンスサービス/資料展示/講座の開催/情報発信・アクセス/ボランティア活動の促進
- 施設設備の充実
施設設備の維持管理/快適な読書環境の提供

基本方針3 非来館型サービスの充実

～図書館のDXを推進

非来館型サービスの充実では、電子図書館、貸出システム、デジタルデバイドの解消等、図書館DXについての施策や取組を展開します。

- 非来館型サービスの充実
電子図書館の推進/オンラインシステムの充実/デジタルデバイスへの対応

基本方針4 子どもの読書活動の推進

～印西市子ども読書活動推進計画

子どもの読書活動の推進では、「印西市子ども読書活動推進計画」の図書館サービスに関する施策や取組を展開します。

- 子どもの読書活動の推進
読書活動を深める機会の提供/読書環境の整備/情報の普及・啓発